

～本当のお子様の将来を思うなら～

受験後の取り組みの大切さ

受験がゴールだと思いませんか？

残念ながら、志望の学校に合格し、学校に通い始めてから、この受験に取り組んだ末の「ひずみ」が出てしまうお子様も実際少なくはありません。

そのひずみは「体や心」様々なものです。

子供は自由に体を動かす事でそのメンタルボディマップが育ちますが、小学校受験の指示行動で固めた運動のみでは不十分です。

また受験は子どもの心に過度なストレスがかかっています。受験後は、学校体育向上と共に、ストレスの解放を目的としお子様をサポートします。

フィジパでは受験後の「就学準備期間」を設け、本当の意味で「小学校（幼稚園）受験の成功」を見据え、「体と心のフォローアップ」としてサポートいたします。



フィジパではお子様の足の使い方、体の使い方がしっかりできているかをチェックできるような裸足レッスンです。また脳発達を考え、運動器具にも色や種類にこだわっています。

◆保護者様の声より◆

「他の運動プログラムより高度でびっくりしました」
「子どもの特徴を全部受け止めて下さりました」
「並ぶ時間がなく内容が詰まって効果的でした」

「子供の自信が取り戻せました」

「母の私たちのメンタルサポートも心強いです」

「受験後のフォローアップやサポートが、他の受験の教室にはないもので、小学校になっても続けてやりたいと思いました」

「受験後の小学校の学校体育へつながる指導がとてもありがたかったです。」

合格するための オーダーメイドプログラム

「志望校」に照準をあてた技術習得をして、より合格に近づくカリキュラムを組んでいきます。

目的や個別にぴったりと合った内容で「運動の段階を踏む」事がとても大切で、個別・少人数制にこだわる大きな理由でもあります。

お問い合わせ先

電話: 050-3563-8925

メール: physipa@gmail.com

Web: <http://physipa.com>



フィジカルパーク東北沢駅前教室

東京都世田谷区北沢3-7-1

宇治川ビル2F

受験を 取り組む前に 読んでおきたい ハンドブック

小学校(幼稚園) 受験を
お子様にとって本当に良い
時間にするために...



お子様の 幸せのための受験をご提案

皆さんは何故幼稚園・小学校受験という道を選択されたのでしょうか？それは、お子様の「**幸せ**」を願ってのことだと思います。お子様にとって、「受験」を真剣に考えた末のフィジパのシステムをご紹介します。

学校・幼稚園が求めている事の 正確な理解が成功の近道

学校受験に取り組む6歳までの期間は本来「**勉強をするための土台作り**」の期間です。それは「**身体も心**」も同じです。

「指示行動」

運動テストでは、学校の先生が伝えている内容をしっかり受け取り、そして確実に行動できるかを見極めるためにあります。

更に、指示行動から体の使い方がしっかりしているかどうかを見極めます。土台がしっかりできてないお子様がこの指示行動対策を取り組んでも、残念ながらあまり良い成果は得られません。



「行動観察」

お子様に指示ばかりしていませんか？お子様は人の真似ではなく、指示待ちでもなく、自分で考えて行動する事ができますか？その場面で求められている事を自分自身で考えて行動する事を見極められます。

～フィジパの目標～

フィジパでは「**体の動かし方・思考の使い方**」を強化する「**脳育て**」を取り組みます。
つめこみ指導では、合格は難しく、例え運よく合格できてもその後の生活が良い結果に結びつくとは限りません。
受験を通じてフィジパは以下のような子を目標としています。

- **しっかり話を聞ける子**
- **頭でイメージした事を確実に表現できる子**
- **失敗を恐れずチャレンジできる子**
- **生き生きとかつ堂々とできる子**

個別レッスンの大きな意味

本来体の動かし方・考え方はその子それぞれ違います。指導には、それぞれのアプローチがあり、それにより能力はグンと伸びていきます。
「**見たこと・聞いた事を脳がしっかりイメージできているか**」**指示行動**
「**求められた行動を敏速にできるか。**」**行動観察**
これらを個別でサポートする意味はいくつかあります。

「集団レッスンはしないのですか？」

このような質問はとても多いのですが、受験当日では人の動作に惑わされず自分が自信を持って行う事が重要です。

集団では「できているように感じるお子様でも、フィジパで見えていくと、できていない事が非常に多いのが現状です。
そのお子様にとって、何が取り組む一歩なのか、個別でしっかり把握する必要があります。
集団レッスンだけでは落とし穴がある事を知っていたら、まずは個の力を伸ばす事に専念することが成功のカタチです。

体の使い方の習得は できていますか？

クマ歩きは、多くの学校で出題されますが、なぜこのクマ歩きが重要かお分かりですか？それは正しい体の使い方ができているかを見るためなのです。
しかし、クマ歩きだけができてても体の使い方が上手とはいえません。例えば**ボールの反復練習**では習得に時間がかかる子がいます。それは**ボールつきに必要な単純動作の一つができない事**がその理由なのです。
幼児はまだ体の使い方が未熟です。どの動きが未発達かにより、その子の運動能力が左右されます。逆に体の使い方をしっかりマスターしているお子様は、受験の問題もぐんぐん吸収できます。

メンタルボディマップの形成 を目指しましょう



メンタルボディマップとは「**脳内の体の地図**」の事です

これを育てる事は単に運動能力が高まるだけではなく、筆記等の能力やコミュニケーション能力などに影響する脳力が育ちます。
フィジパでは「**体力系・バランス系・ボール系・リズム系**」と総合的に盛り込み、志望校に応じた受験対策に取り組めます。

「人と比べない」「自信を持つ」 メンタルケアの必要性

毎年ほとんどのお子様を受験日が近づくにつれて、今まで出来た事ができなくなる傾向があります。
それはなぜでしょう。
それは、幼児教室の講師や親御様からの**周囲のプレッシャー**から起こるものなのです。受験は人と比べて競う場所ですが、だからこそまだ幼い子供たちの「**受験**」には**心のサポートが必要不可欠**で、合格にもつながっていきます。